

〔明治十八年一月〕

・直轄学校教授・講師の講談・演説取締に付  
達

・東京大学退学の学生中悔悟・謹慎の状ある者七十八名官公私立学校への入校許可の事  
・文部少書記官穂積陳重調査課長を免官の事  
他

直轄局部へ達

本年中直轄局部ニ示達セシモノ四拾七件ニシテ之ヲ區別スレバ  
学校等規則ニ係ルモノ經費ニ係ルモノ土地家屋ニ係ルモノ其他  
雜件數種トス其要領ヲ摘録スルコト左ノ如シ

明治十七年一月二十六日中学校通則ヲ制定シタル旨ヲ大坂中学  
校ニ達ス是レ既ニ之ヲ府県ニ達スル以上ハ該校ニ向テモ同ク之  
ヲ体知セシメサルヘカラサルヲ以テナリ

二月二日同上ノ件ヲ東京師範学校ニ達ス是レ該校ハ中学校ノ教  
員ヲ養成スルノ關係アルヲ以テ亦之ヲ体知セシメサルヘカラサ  
ルヲ以テナリ○四日十五年經費仕払殘金ノ儀当十六年度へ据置  
タルニ付同年度經費ニ併用セントスルトキ事務ノ新規擴張ニ係  
ルモノハ伺出ツヘク其新規擴張ニ係ラサルモノハ其都度科目金  
員事由ヲ詳具開申スヘキ旨ヲ直轄局部（大坂中学校ヲ除ク）ニ  
達ス 十五年度經費金仕払殘金ノ内金壹千円当十六年度へ据置

キタル旨ヲ大坂中学校ニ達ス○十六日銀貨ヲ以テ補助貨及紙幣  
ニ交換ノ節生スル所ノ価格差増ノ儀十五年度以降ハ雜收入トシ  
テ納付スヘク尤モ十四年ヨリ十五年度へ繰越シタルモノハ十五  
年度雜收入トシテ一旦納付ノ上更ニ同年度經費増額トシテ下渡  
スヘキニ付至急納受ノ手續ヲナスヘキ旨ヲ東京大学東京外国語  
学校東京女子師範学校東京職工学校東京教育博物館東京図書館  
ニ達ス○十八日学齡未滿ノ幼児保育上ノ件ヲ府県ニ達シタル旨  
ヲ東京師範学校東京女子師範学校ニ達ス是レ該校ニハ附属小学  
校及幼稚園ノ設アルヲ以テ之ヲ体知セシムルノ必要アルヲ以テ  
ナリ 十七年度經費へ金壹千円別途交付スヘキ旨ヲ東京女子師  
範学校ニ達ス○二十五日十六年度經費中へ脚氣病室建築費トシ  
テ金壹万五千円別途交付スヘキ旨ヲ東京大学へ達ス○二十八  
日十六年度經費へ俗曲改良費トシテ金五百円別途交付スヘキ旨  
音楽取調掛へ達ス 官立公立学校小学校ヲ除クニ於テ演習スヘキ歩兵  
操練科ノ程度施行ノ方法及小学校ニ於テ該科施行ノ適否等取調  
具申スヘキ旨體操伝習所ニ達ス是レ歩兵操練科ハ體操術ノ一部  
トシテ従來體操伝習所大坂中学校東京師範学校等ニ於テモ実施  
シ他ノ直轄学校ニモ漸次施行セシムルノ見込ナリシカ今回改正  
ノ徵兵令第十二条所掲ノ趣モコレアリ一般公立学校ニ向テ抛ル  
ヘキ標準ヲ示スノ緊要アルヲ以テナリ

三月六日其館ニ於テ購入交換売却寄贈委託等凡テ出入増減ニ係  
ル図書ハ其題名員數出版年月著訳者氏名寄贈委託交換者氏名並  
ニ其出入増減ノ事由合計等ヲ每半年ニ調査シ毎年一月七月兩度  
ニ取纏ノ開申スヘキ旨ヲ東京図書館ニ達ス是レ図書出入増減等

調査上ノ便宜ヲ計リタルナリ 今般商業学校ヲ東京外国語学校ノ所屬トシテ学校内ニ設置スヘク就テハ該校諸規則学科課程等取調伺出ツヘク但外国語学科ノ事項ニ就キ適宜減省シ商業学科ト共用シ諸費其校定額内ヲ以テ措弁スルノ方法等相立申出ツヘシ尤モ右創設費トシテ本年度ニ在リテ金五千円別途交付スヘキ旨ヲ東京外国語学校ニ達ス是レ商業学校通則ニ拠リ府県ニ於テ其施設ヲ企画スルノ時ニ際シ官立高等商業学校ヲ設テ其教制ヲ整治シ其模範ヲ示シ兼テ其教員ヲ養成スルノ緊要アルヲ以テナリ 本年一月第三号及第五号公達ノ旨趣ニ由リ経費俸給中ニ「非職俸給」雜給中ニ「退職賜金」ノ細科目ヲ設ケ整理スヘキ旨ヲ直轄学校館所ニ達ス

四月五日文部省吏員及直轄学校職員等公衆ヲ聚メ講談演説ノ席ヲ開ク等不相成旨兼テ達シ置候趣有之候処自今其学教授ハ左ノ条項ニ拠リ公衆ヲ聚メ學術上ノ講談演説ヲ為スハ不苦候条尚總理ニ於テ嚴肅取締ヲ立テ不都合無之様取計フヘシ但教授ノ外教授ニ準シ本文講演ヲ為スヲ得シメントスルモノアルトキハ何出ツヘク且本文取締ニ関スル細則等ハ便宜取調申出置クヘキ旨ヲ東京大学ニ達ス是レ學術老練ノ学士輩ヲシテ理化学衛生教育ノ事項等日常生活ニ適切ナルモノヲ通俗平易ニ講演セシメ真正適實ノ智見ヲ伝播セントスルノ目的ヲ以テ特ニ太政官ノ允裁ヲ經テ此ニ及ヘルナリ其条項ハ左ノ如シ一講演ノ事項ハ理学及医学科ニシテ成ルヘク民業等ニ裨益多キモノタルベシ一前項学科上ノモノト雖モ苟モ政務ニ関スル講談演説ヲ為ス者等ト共ニ開会スヘカラス一講説ノ際ハ言辞ヲ慎ミ苟モ不經ニ涉ルコトアルヘ

カラス○十二日十六年度経費へ脚気病室建築費トシテ金壹万五千五百円別途交付ノ旨去二月中達シ置キタル所右ハ通常経費外別ニ脚気病室建築費ノ一科目ヲ設ケ勘定整理スヘキ旨ヲ東京大学ニ達ス○二十一日十六年度経費へ金式千五百円十七年度経費へ金三千六百四円学事奨励品博物館標本製造費トシテ別途交付ノ旨ヲ東京教育博物館ニ達ス

五月十六日十六年度経費中管轄費へ金九千円理学講義室建築費トシテ別途交付スヘキ旨東京教育博物館ニ達ス○十七日理学部付屬トシテ造船学科ヲ設置スヘク尤モ右設置ニ関シテハ当省及海軍省協議済條款ノ通相心得取計フヘキ旨ヲ東京大学ニ達ス是レ海軍省ノ依頼ニ由リ海軍船艦及船用機関製造ニ従事スル海軍技術官タルヘキモノヲ養成センカ為ナリ○二十七日十四年度銀貨交換差増金ノ儀本年二月中達シ置キタル処右ハ十六年度ニ繰越シ同年ニ於テ納受スヘキ旨東京大学東京外国語学校東京女子師範学校東京職工学校東京教育博物館東京図書館ニ達ス

六月五日十七年度収支予算ノ儀満年賜金式百貳拾円(東京大学)同百円(大坂中学校)ヲ削除シ其他申出ノ通り決定セシ旨ヲ東京大学大坂中学校ニ達ス 十七年度経費予算ノ儀満年賜金五十円ヲ削除シ其他申出ノ通り決定セシ旨ヲ東京師範学校ニ達ス 十七年度収支予算ノ儀申出ノ通り決定セシ旨ヲ東京外国語学校東京女子師範学校東京職工学校東京教育博物館東京図書館体操伝習所音楽取調掛ニ達ス○二十四日隣地神田区一ツ橋通町三番地地坪三百九拾四坪三合買上費トシテ当十六年度経費中二金四千八百五拾五錢別途交付スヘキ旨ヲ体操伝習所ニ達ス

七月三日中学校教則大綱第十一条本文改正ノ旨ヲ大坂中学校東京師範学校ニ達ス是レ此二校ハ多少ノ関係ヲ有スルヲ以テナリ

○九日金銭出納記簿組織明治十五年九月達シ置キタル処十七年度分ヨリ大蔵省本年第四拾号達ニ照準改正スヘキ旨ヲ直轄学校館所ニ達ス○十八日上野用地内其学使用ノ分面積式千六百三拾九坪四合五勺并ニ建家三棟共東京図書館移設及東京教育博物館ニ理学講義室陳列場敷地等ノ為メ必要ニ付返納スヘキ旨ヲ東京大学ニ達ス○十九日十七年度経費管轄費ヘ金壹万六千円別途交付スヘキ旨ヲ東京職工学校ニ達ス○二十三日十七年度経費中ニ民有地買上費トシテ金六千円別途交付スヘキ旨ヲ東京女子師範学校ニ達ス○二十六日校舍再築費トシテ金七万式千五百円別途交付ノ旨達シ置キタル処当十七年度予算額ハ金三万六千式百五拾円ト定メタル旨ヲ東京師範学校ニ達ス○三十日明治十六年十二月中途シ置キタル直轄局部金銭出納報告順序別冊ノ通り改正セシニ付十七年度分ヨリ右ニ準拠施行スヘキ旨ヲ直轄学校館所ニ達ス

八月二日十七年度経費中ヘ教師館買上費トシテ金式千三百五拾円別途交付ノ旨ヲ東京大学ニ達ス○四日其館建築費トシテ金式万五千円当十七年度ニ於テ別途交付スヘキニ付上野用地東四軒寺跡ヘ建築ノ見込ヲ以テ図面仕様等取調伺出ツベキ旨ヲ東京図書館ニ達ス○二十三日中学校師範学校教員免許規程ヲ大坂中学校東京師範学校ニ達ス其旨趣ハ府県ノ条ニ述フルカ如シ○二十七日十六年度経費仕払残金ノ儀当十七年度ニ据置キタルニ付同年経費ニ併用セントスルトキ事務ノ新規拡張ニ係ルモノハ伺

出ツヘク其新規拡張ニ係ラサルモノハ其都度科目金員事由ヲ詳具開申スヘキ旨直轄局部(大坂中学校ヲ除ク)ニ達ス

九月十五日其校所属地大坂府下北区中ノ島玉江町壹丁目式番地同式拾八番地合面積七千四百拾三坪八合七勺五才并建物トモ大蔵省用地トシテ引渡ノ儀其筋ニ伺済ニ付大坂府ニ引渡スヘキ旨ヲ大坂中学校ニ達ス 其学給費生設定方ノ儀ハ次学年以降ニ係ル分ハ一層審案シ給費規則大綱第五条ニ拠リ其学科ニ之ヲ要スル事由ヲ詳具シ殊ニ補助給費生ノ儀ハ同条但書ニ拠リ必要ナル生員ノ欠之ヲ補充スル場合ニ限り之ヲ設クル様取計伺出ツヘキ旨ヲ東京大学ニ達ス是レ該大綱ノ旨趣ヲ一層精密ニ実行セシメンカ為メナリ

十月十八日明治十三年度以前諸費打切払金精算未済ノ分此際悉皆精算整理シ本年十二月十五日限り報告スヘク万一止ヲ得サル事故アリテ精算シ難キモノアレハ其事由ヲ詳記シ仕訳書ヲ添ヘ申出ツヘキ旨ヲ東京大学東京職工学校ニ達ス○二十四日十七年度経費ヘ金六百六拾円別途交付ノ旨ヲ東京教育博物館ニ達ス○二十八日学生生徒日課時間割毎学期ノ始メ一括製表差出シ来リタル処自今差出スニ及ハサル旨ヲ東京大学東京外国語学校及体操伝習所ニ達ス是レ毎週授業時間数ハ毎年進達ノ一覽中ニ掲載スルヲ以テ今日ニアリテハ別ニ支障ナキヲ以テナリ

十一月一日来十八年度経費額ノ儀東京大学ハ金式拾七万三百九拾円(内正貨五万五千八百七拾五円)大坂中学校ハ金壹万九千四百式拾五円東京外国語学校ハ金三万三千八百五拾五円(内正貨七百五拾円)東京師範学校ハ金三万式千九百六拾五円東京女

子師範学校ハ金貳万六百七拾四円東京職工学校ハ金貳万九千九百拾円（内正貨千五百円）東京教育博物館ハ金壹万四千五百八拾円（内正貨三百七拾五円）東京図書館ハ金七千三百三拾五円（内正貨三百七拾五円）東京学士会院ハ金六千貳百貳円体操伝習所ハ金六千三百七拾五円音楽取調掛ハ金八千七百八拾四円ト相定メタルニ付右金額以内ニテ一切支弁ノ目途相立予算取調差出スヘキ旨ヲ直轄局部ニ達ス○四日東京女子師範学校附属高等女学校中ニ専修科ヲ設クルニ付教則大旨ニ準拠シ教則取調伺出ツヘキ旨ヲ東京女子師範学校ニ達ス是レ専修科ハ和文英語図書裁縫礼節音楽ノ六科中二三科ヲ専修セシムルモノニシテ其旨趣ハ女子ノ教育ヲシテ各自ノ地位交際等ニ適応スルノ便ヲ与フルニアリ○七日自今規則ノ設定又ハ改正等伺出ノ節ハ詳細ノ説明書ヲ付シ差出スヘキ旨ヲ直轄学校館所ニ達ス是レ其旨意ヲ明瞭ナラシムルハ調査上緊要ナルヲ以テナリ○十四日中学校師範学校教員免許規程第六條ノ出願手續ヲ大坂中学校東京師範学校ニ達ス其旨趣ハ府県ノ條ニ述フルカ如シ○二十二日明治十四年七月第貳拾八号達中学校教則大綱第五條改正ノ旨ヲ大坂中学校東京師範学校ニ達ス是レ此改正ハ該校ノ当然与リ知ラサルヘカラサルヲ以テナリ 本年<sup>十一月</sup>第拾貳号達ヲ大坂中学校東京師範学校ニ達ス是レ該校ヲシテ之ヲ体知セシムルモノアルヲ以テナリ○二十四日明治十四年<sup>八月</sup>第貳拾九号達師範学校教則大綱第六條改正ノ旨ヲ東京師範学校東京女子師範学校ニ達ス是レ此改正ハ該校ニ直接ノ關係アルヲ以テナリ

十二月九日中学校師範学校教員免許規程ヲ東京女子師範学校ニ

達ス是レ該校教員モ亦此規程ニヨリ学力等ヲ検定スヘケレハナリ 同伴第六條出願手續ニ係ル件ヲ同校ニ達ス

#### 処務ノ要旨

一月四日府県立学校表ヲ府県ニ配付ス 東京府ノ具申ヲ審査シ小学校十一校ニ奨励品ヲ付与ス 東京女子師範学校事務章程ヲ改定ス○七日第一号ヲ以テ教育雜誌発行廃止ノ件ヲ告示ス 八日岐阜長野両県ノ具申ヲ審査シ岐阜県ノ第二類職員（学務ニ関スル職員即チ学校長書記学務委員等）貳拾八名長野県ノ第一類職員（教導ニ関スル職員即チ教員等）七拾三名第二類職員三拾壹名ニ賞与ノ典ヲ行フ○九日東京府ノ具申ヲ審査シ第一類職員貳名ニ賞与ノ典ヲ行フ○十日高知大分両県ノ具申ヲ審査シ高知県ノ小学校十三校大分県ノ同上十二校へ奨励品ヲ付与ス○十二日昨年東京大学ニ於テ退学セシメタル学生中悔悟謹慎ノ状顯レ且酌量スヘキ情実アルモノ六拾名ノ官公私立学校へ入校禁止ヲ解ク○十六日群馬県ノ具申ヲ審査シ第二類職員貳拾名へ賞与ノ典ヲ行フ○十七日小学科ノ作文ハ平易着実ヲ旨トスヘキニ生徒中詩作又ハ人物ノ評論花月遊戯ノ文等ヲ雜誌社ニ寄送スルモノアリ徒ニ高尚ニ馳セ浮華ニ流ル、ノ弊アルヲ以テ小学校生徒ノ詩文等ヲ雜誌社等ニ寄送セシメサル様注意スヘキ旨ヲ一府十県ニ通知ス 官立公立師範学校卒業証書及府県教員免許状ヲ其資格ヲ失ヒタル者ヨリ没収セントスルモノニ応セサルトキハ警察官ヲシテ没収セシメ然ルヘキヤノ旨ヲ文部卿及内務卿連署ヲ以テ太政官ニ稟議シ允裁ヲ得蓋教育令第三十七條但書ニ品行不正ノ者ハ教員タルヲ得サルノ明文アリ苟モ品行不正ト認ムヘキモ

ノハ其資格既ニ消滅スルモノナレハ之二対シテ証書又ハ免許状ヲ没収スヘキハ勿論ナルヲ以テ此等ノ場合ノ措置ハ府県制定ノ規則中其明文ヲ掲ケシメタルニ現ニ右没収ヲ拒ムモノアリ之カ処分ヲ申稟スル地方アルヲ以テ此稟議ヲ要スルニ至レリ 大坂千葉函館茨城和歌山福井等一府五県ノ具申ヲ審査シ大坂府ノ第一類職員六拾名千葉県ノ同上四拾三名函館県ノ同上三名茨城県ノ同上八名和歌山県ノ同上十九名福井県ノ同上式拾名へ賞与ノ典ヲ行フ○十九日栃木青森徳島鹿兒島等四県ノ具申ヲ審査シ栃木県ノ第二類職員八名青森県ノ同上式拾三名徳島県ノ同上八名鹿兒島県ノ同上三名へ賞与ノ典ヲ行フ○二十二日熊本長崎埼玉広島高知大分福島福岡等八県ノ具申ヲ審査シ熊本県ノ第二類職員式拾式名長崎県ノ同上七名埼玉県ノ同上三拾八名広島県ノ同上式拾八名高知県ノ同上拾五名大分県ノ同上式名福島県ノ同上式拾式名福岡県ノ同上拾七名へ賞与ノ典ヲ行フ○二十三日静岡県ノ具申ヲ審査シ小学校拾式校へ奨励品ヲ付与ス○二十四日東京山梨鳥取山口等一府三県ノ具申ヲ審査シ東京府ノ第二類職員拾名山梨県ノ同上拾五名鳥取県ノ同上三名山口県ノ同上拾五名へ賞与ノ典ヲ行フ○二十五日愛媛県ノ具申ヲ審査シ小学校三拾四校へ奨励品ヲ付与ス○二十八日滋賀岡山二県ノ具申ヲ審査シ滋賀県ノ第一類職員四拾五名岡山県ノ第二類職員三拾九名へ賞与ノ典ヲ行フ○二十九日東京師範学校及東京図書館敷地ハ從來彼是錯綜シ甚不都合ニ付右ニ接続セル神田宮本町式拾式番地即チ旧昌平館跡地ノ内五百拾六坪六合五勺五才ヲ東京師範学校ニ其四百九拾九坪壹合式勺五才ヲ東京図書館ニ夫夫敷地トシテ

相渡シ尚又東京師範学校敷地ノ内神田宮本町式拾三番地五百拾九坪六勺三才ハ図書館敷地即チ神田宮本町式拾壹番地へ組替度旨上請允裁ヲ得 愛知群馬二件ノ具申ヲ審査シ愛知県ノ第二類職員六拾四名群馬県ノ第一類職員三拾六名ニ賞与ノ典ヲ行フ 二月一日本年五月露国首府ニ於テ開設ノ万国園芸博覧會へ植物三拾三種栽盆等ヲ出陳ス 文部大書記官辻新次ニ兵庫岡山二県同中島永元ニ大分熊本二県ノ学事巡視ヲ命ス○六日文部少輔九鬼隆一長崎佐賀二県ノ学事巡視ヲ命セラル○七日当省十四年度經費殘金ノ儀囊ニ開申(五千五百三拾七円四拾六錢四厘)セシニ尚該年度經費決算ノ期ニ至リ詳ニ調査ヲ遂ケシニ稍差異ヲ生シタリ(五万九千拾七円六拾六錢壹厘(内金二拾六円四拾式錢七厘ハ銀貨交換差増)尤モ其内金九千八百五拾式円式拾壹錢六厘ハ十四年度所屬ノ費額ニシテ既ニ現金支出セシモ出納閉鎖ノ期限マテ決算ニ至ラサル分ニ有之其他ハ会計検査院ヨリ通報ノ決算帳書式ニ拠リ從來ノ計算方ヲ変換セシヲ以テ此差異ヲ生シタル旨上申ニ対シ開申ノ旨聞届ク尤モ銀貨交換差増金八十五年度雜収入トシテ一旦納付ノ上更ニ増額トシテ下渡スヘキニ付納付スヘキ旨指令アリ○九日三重県ノ具申ヲ審査シ小学校式拾三校へ奨励品ヲ付与ス○十五日日本日発行ノ第三号達ニ係ル旨趣説明及幼稚園保育上ノ計畫等ヲ府県ニ通知セシム是レ本達施行ノ便宜ヲ与フルノ要アルヲ以テナリ 三重静岡二県ノ具申ヲ審査シ三重県ノ第二類職員式拾八名静岡県ノ第一類職員七拾八名へ賞与ノ典ヲ行フ○十八日本年五月英京倫敦ニ於テ開設ノ衛生博覧會へ学校衛生及理学技芸教授ノ用具器械并図書館学校幼稚園等

諸規則同校舎ノ図面撮影雛形教育法令規定類生徒ノ成績物學事統計表等凡壹千七百九拾貳種壹千六拾九冊ヲ出陳ス 岩手滋賀二県ノ具申ヲ審査シ岩手県ノ第二類職員九名滋賀県ノ第一類職員志名ヘ賞与ノ典ヲ行フ○二十日福岡県ノ具申ヲ審査シ第一類職員五拾三名ヘ賞与ノ典ヲ行フ 静岡県ノ具申ヲ審査シ小学校七校ヘ奨励品ヲ付与ス 學事奨励品付与ニ関スル調査具申方心得第一章第二条第一類公私立小学校第二類府県町村立中学校ノ儀來ル六月ヲ期シ調査具申スヘキ旨ヲ府県ヘ通報セシム○二十三日東京大學所轄小石川植物園ヲ東京大學植物園ト改称スルノ議ヲ決ス○二十五日佐賀茨城二県ノ具申ヲ審査シ佐賀県ノ小学校九校茨城県ノ同上貳拾三校ヘ奨励品ヲ付与ス 東京府ノ具申ヲ審査シ小学校生徒貳百三拾貳名ヘ賞与ノ典ヲ行フ○二十七日蘇格蘭エヂンパロー大學三百年祭ニ付該大學ヨリ招状ヲ受クルヲ以テ東京大學ヨリ在英留學生理學士九里龍作ヲ代理人トシテ出席セシムルノ議ヲ決ス○二十八日和歌山静岡二県ノ具申ヲ審査シ和歌山県ノ第二類職員二名静岡県ノ第一類職員三名ヘ賞与ノ典ヲ行フ○二十九日文部省明治十六年事務報告ヲ太政官ニ上呈ス

クヘ送付セシニ無程該バンク閉店シ該振込金不通ニ屬シタル旨ニテ會計掛ヘ回金ノ運ニ至ラス因テ此勘定ハ其後當省ニ引受一旦打切決算ノ上稅外收入勘定帳ノ外書トシ引負金賠償次第勘定相立ツヘキ筈ニテ右引負金勘分ノ顛末ヲ在仏我公使館ヘ照會セシニ該館ヨリ予テ右バンクヘ預ケ金損失高申出ノ内ニハ前段洋銀千四百拾四弗八算入之レナキニ由リ其後損失金払戻ノ節モ右金額ニ対スル部割等ハ領収セサル旨ノ回答ニ由リテ之ヲ觀レハ本件金額ハ全ク當時バンク賠償ノ詞訟中偶然遺算ナリタル儀ニコレアルヘク且數年ヲ經過スルノ今日別ニ処分之レナキニ付前條バンク振込金額ハ棄捐ニ付シ即チ故武藤精一ヘ繰替金ハ此際払切勘定相立度旨上請允裁ヲ得○六日長崎埼玉愛知滋賀宮城高知大分等七県ノ具申ヲ審査シ長崎県ノ小学校生徒九拾九名諸學校生徒拾七名埼玉縣ノ小学校生徒貳百名諸學校生徒七名愛知縣ノ小学校生徒貳百五拾九名諸學校生徒拾壹名滋賀縣ノ小学校生徒百六拾九名諸學校生徒三名宮城縣ノ小学校生徒百四拾五名諸學校生徒七名高知縣ノ小学校生徒七拾六名諸學校生徒拾三名大分縣ノ小学校生徒八名諸學校生徒五名ヘ賞与ノ典ヲ行フ○七日督業訓導ノ名稱ハ其実ニ適セス隨テ彼是權衡ヲ失フノ恐アルヲ以テ第四号達ヲ以テ小學督業ト改称シタル旨及小學督業ノ準官等ハ教諭訓導ノ準官等内ニ於テ適宜取調伺出ツヘキ旨ヲ府県ニ通知セシム 大坂函館神奈川福井広島等一府四縣ノ具申ヲ審査シ大坂府ノ小学校生徒三百八拾名諸學校生徒五拾五名函館縣ノ小学校生徒貳拾五名神奈川縣ノ同上三拾名福井縣ノ同上百三拾三名広島縣ノ同上貳百三拾貳名ヘ賞与ノ典ヲ行フ○十一日茨城

和歌山長野等三県ノ具申ヲ審査シ茨城県ノ小学校生徒式百三拾式名諸学校生徒四名和歌山県ノ小学校生徒九拾七名長野県ノ同上式百三拾壹名諸学校生徒三名へ賞与ノ典ヲ行フ○十四日山形福岡宮崎等三県ノ具申ヲ審査シ山形県ノ小学校生徒式拾式名福岡県ノ同上式百式拾八名宮崎県ノ同上三拾六名諸学校生徒壹名ニ賞与ノ典ヲ行フ○十五日群馬福井等二県ノ具申ヲ審査シ群馬県ノ第一類職員式名福井県ノ第二類職員壹名ニ賞与ノ典ヲ行フ○十九日英文明治七年太政官第三拾壹号達中学校地所無代下渡ノ件外拾式種ヲ印行ス 小学校生徒ノ詩文等ヲ雜誌ニ寄送セシメサル様注意スヘキ旨ヲ一府八県ニ通知セシム其主旨前二述フル所ニ同シ 山口鹿児島愛媛等三県ノ具申ヲ審査シ山口県ノ小学校生徒百八拾四名鹿児島県ノ同上百式拾名諸学校生徒式拾式名愛媛県ノ小学校生徒式百八名諸学校生徒式拾三名ニ賞与ノ典ヲ行フ○二十二日徳島青森秋田等三県ノ具申ヲ審査シ徳島県ノ小学校生徒百拾九名諸学校生徒拾七名青森県ノ小学校生徒九拾名諸学校生徒式拾名秋田県ノ小学校生徒百拾名ニ賞与ノ典ヲ行フ○二十四日第式号ヲ以テ東京外国語学校内ニ高等商業学校設置ノ旨ヲ告示ス○二十五日大坂滋賀秋田等一府二県ノ具申ヲ審査シ大坂府ノ第二類職員壹名滋賀県ノ同上式拾五名秋田県ノ第一類職員壹名ニ賞与ノ典ヲ行フ 近來省務拡張ニ随ヒ在來ノ庁舎ノミニテハ日常ノ事務取扱上ニモ差支少カラサルニ付事務所一宇建設ヲ要スル処当邸内ハ地頗ル狹隘ニシテ建設ノ余裕ナシ然ルニ麴町区内幸町式丁目三番地即チ百拾坪ノ地所ハ頗ル適応ノ地位ニシテ家屋モ其儘用立便宜ニ付右代価等所有者ニ示談ヲ

遂ケ且成規ノ通内務省ヘモ協議ヲ遂ケタルニ由リ該所當省用地トシテ買上度右金額ハ當省十六年度經費中ヨリ支出取計ヘキ旨上請允裁ヲ得○二十六日明治十六年末調査諸省所轄学校統計表ヲ印行ス 瑞西国政府ヨリ文学及工芸上發明ヲ為シタル者ノ權利ヲ保護スヘキ規約ヲ定ムル各国委員会ニ同盟ノ儀照会アリト雖モ方今尚未タ行レ難キ事情アルヲ以テ之ヲ謝絶セリ○二十七日第三号ヲ以テ文部省報告發行廃止ノ件ヲ告示ス 明治十五年学事統計表ヲ印行ス○二十八日大学教員ヲシテ學術研究ノ便ヲ得シムルハ高等教育上最モ緊要ノ事ナルヲ以テ該教員ノ内願ニ依リ學術研究ノ為メ私費ヲ以テ本官ノ儘海外へ出張セシムル儀上請允裁ヲ得 富山千葉等二県ノ具申ヲ審査シ富山県ノ第一類職員式拾八名第二類職員六名千葉県ノ第二類職員壹名ニ賞与ノ典ヲ行フ 英文明治十四年太政官第五拾壹号達文部省所轄官立学校東京図書館東京教育博物館職制及職員名称等給ノ件五種ヲ印行ス○二十九日富山千葉等二県ノ具申ヲ審査シ富山県ノ小学校生徒百四十四名諸学校生徒六名千葉県ノ小学校生徒百九拾九名ニ賞与ノ典ヲ行フ 是月客年ノ例ノ如ク東京府会教育費項会議ノ時普通学務局員ヲシテ時々臨会傍聴セシム 四月二日静岡秋田等二県ノ具申ヲ審査シ静岡県ノ第二類職員四拾九名秋田県ノ第一類職員壹名へ賞与ノ典ヲ行フ○七日統計院ノ統計材料ニ供センカ為メ明治十五年全国学事ニ係ル諸表拾七種ヲ調製シテ之ヲ該院ニ回付ス○八日福島熊本等二県ノ具申ヲ審査シ福島県ノ小学校生徒九拾四名諸学校生徒四名熊本県ノ小学校生徒式百式名諸学校生徒九拾九名へ賞与ノ典ヲ行フ 滋賀県

ノ具申ヲ審査シ小学校式拾校ニ奨励品ヲ付与ス○十日新潟群馬  
岐阜等三県ノ具申ヲ審査シ新潟県ノ小学校生徒百五拾式名諸  
学校生徒拾四名群馬県ノ小学校生徒百八拾壹名諸学校生徒壹名  
岐阜県ノ小学校生徒百九拾九名諸学校生徒拾式名ニ賞与ノ典ヲ  
行フ 島根福岡等二県ノ具申ヲ審査シ島根県ノ小学校拾校福岡  
県ノ同上式拾壹校ヘ奨励品ヲ付与ス○十四日府県立師範学校中  
学校長教員俸額一覽表ヲ府県ニ配布ス○十五日三重県ノ具申ヲ  
審査シ第一類職員四拾四名ヘ賞与ノ典ヲ行フ 東京大学法文学  
部ノ新築功竣ルヲ以テ該学部ハ次学年ヨリ本郷新築ノ校舍ニ於  
テ開業スヘキニ付同時本学ヲ医学部内ニ移シ該部ニ在ル予備門  
分費ヲ該門本費内ニ移スノ議ヲ決ス○十九日学務委員ヲ薦挙セ  
シムルニ方リ薦挙人一同謂レナク之ヲ怠リ又ハ拒ムノ場合等ニ  
アリテハ府知事県令ニ特ニ之ヲ選任セシメ度旨稟議允裁ヲ得蓋  
町村人民ニ於テ学務委員ヲ薦挙スヘキハ教育令ニ明文アリ免ル  
ヘカラサルノ務ナルニ妄ニ之ヲ举行セサルモノアル旨ヲ以テ其  
措置方ヲ申稟スル地方アルニ由ル○二十一日宮城県ニ於テ陸羽  
九県学事聯合会開設ニ付該県令ノ請求ニ由リ文部権少書記官佐  
澤太郎ヲ出張臨会セシム 明治十六年末調査海外留学生表ヲ調  
製ス 愛媛島根岩手山梨静岡等五県ノ具申ヲ審査シ愛媛県ノ小  
学校生徒式拾壹名島根県ノ同上百式拾式名岩手県ノ同上百式拾  
六名諸学校生徒四名山梨県ノ小学校生徒百十八名諸学校生徒四  
名静岡県ノ小学校生徒式百式拾五名諸学校生徒拾名ヘ賞与ノ典  
ヲ行フ○二十二日鳥取秋田長野崎熊本岐阜三重等七県ノ具申  
ヲ審査シ鳥取県ノ第一類職員三名第二類職員六名秋田県ノ第二

類職員式拾六名長野県ノ第一類職員式名長崎県ノ第一類職員壹  
名第二類職員式名熊本県ノ第二類職員壹名岐阜県ノ第一類職員  
四名第二類職員式名三重県ノ第二類職員壹名ニ賞与ノ典ヲ行フ  
○二十三日栃木三重岡山佐賀等四県ノ具申ヲ審査シ栃木県ノ小  
学校生徒五拾四名三重県ノ同上式百四名岡山県ノ同上式百九拾  
九名諸学校生徒拾五名佐賀県ノ小学校生徒百八名諸学校生徒拾  
名ニ賞与ノ典ヲ行フ○二十四日和歌山県ノ具申ヲ審査シ第一類  
職員壹名ニ賞与ノ典ヲ行フ○二十五日佐賀県ノ具申ヲ審査シ第  
一類職員式拾五名第二類職員七名ニ賞与ノ典ヲ行フ 鳥取県ノ  
具申ヲ審査シ小学校生徒四拾九名ニ賞与ノ典ヲ行フ○二十九日  
英文東京師範学校附属小学校規則外八種ヲ印行ス 富山県下射  
水郡式拾七番学区育英小学校ハ奨励品受領ノ後十余日ヲ経過セ  
ス回録ノ災ニ罹リ未タ学区人民ニ親ク觀覽セシメス在来ノ書器  
ト共ニ挙テ灰燼ニ帰シ学区人民ノ悲歎少カラサルニ因リ目今挫  
折ノ心情ヲ挽回シ他日校舍再築ノ挙ヲ果サシメ從來ノ学況ヲ持  
続セシメンカ為メ再度二等奨励品ヲ付与ス 是月各府県学校ニ  
於テ音楽唱歌ヲ試施セントスルモノ頗ル多キヲ以テ音楽伝習生  
ヲ派遣シ以テ該科教員ニ充テントトヲ企望スルモノ比比之レア  
リ依テ府県派出伝習生募集ノ議ヲ決ス 米国立教育会長ヨリ  
該教育会ヘ臨席スヘキ旨照会ニ対シ公務多端ニシテ来意二応シ  
難キ旨ヲ以テ本邦教育上ノ景況ヲ演説スルニ足ルヘキ資料ヲ送  
リ臨席ノ儀ヲ謝絶ス 音楽取調ノ事業漸ク歩ヲ進メ且世間往往  
來聴ヲ請フモノアルヲ以テ月次音楽演習会ヲ興シ毎月第二土曜  
日ヲ以テ之ニ充テ一ハ取調事業進歩ノ順序ヲ逐ヒ漸次其一斑ヲ



公聴ニ供シ一ハ世上ニ在テ来聴ヲ請フモノ、望ヲ滿タスノ途ヲ開キタリ

五月三日京都府府立女学校維持資金トシテ金三万四千九百九拾三円本年ヨリ向フ七箇年賦上納ノ都合ヲ以テ該府へ貸付ノ旨ヲ太政官ニ稟議允裁ヲ得蓋該校従来維持ニ充ル経費金ヲ上納セサルヲ得サルノ場合ニ至リシモ然ルトキハ該校ハ廃止ノ外ナク其影響ノ一般女子教育上ニ及ハントスルノ患アリ因テ該府ヨリ数々上請スル所アルニ由ル○六日福岡県ノ具申ヲ審査シ第二類職員七名ニ賞与ノ典ヲ行フ 明治十六年度府県地方費一覽表并教育費明細表ヲ印行シ府県等ニ配付ス○八日和歌山県立医学校火災ニ罹リ教科用書器等烏有ニ帰シ目下復旧ノ目途ナキヲ以テ臨時学校用器械ヲ付与ス○九日明治十三年<sup>十二</sup>月<sup>十二</sup>達文部省事務取扱規則ヲ廢シ更ニ文部省事務規程ヲ定ム

東京大学教授兼理化学部長菊池大麓米國華盛頓府ニ於テ開設スル地球上一定ノ子午線零点并計時普通法設定委員トシテ派出ヲ命セラル○十三日京都府ノ具申ヲ審査シ小学校十四校ニ奨励品ヲ付与ス○十五日滋賀県ノ具申ヲ審査シ第一類職員壹名ニ賞与ノ典ヲ行フ 秋田県ノ具申ヲ審査シ小学校拾四校ニ奨励品ヲ付与ス 東京教育博物館長兼農商務省御用係手島精一英京倫敦府ニ於テ開設ノ万国衛生博覽会事務官トシテ派遣ヲ命セラル○十七日昨年東京大学ニ於テ退学セシメタル学生中一意謹慎頃日ニ至リ改悛ノ状充分顯レタルモノ拾八名ノ官公私立学校入学禁止ヲ解ク 東京大学予備門ノ教科書ニ充テンカガメゼヒストリーオフラツセラズプリンスオファピシニヤ出版ノ儀ヲ許可ス 本年

第六式拾壹号布告区町村会法ノ改正ニ因テハ明治十四年第三拾八号公布但書ヲモ改正相成度旨ヲ上申ス但六月十三日改正布告アリ是レ該但書ハ区町村会法ノ条件ニ渉ルモノナルニ今ヤ其明文現行法ノ条件ト合セサル廉ヲ生シタルヲ以テナリ 英仏蘭日魯澳伊瑞士白等ノ八箇國教育上ノ制度規則類交換ノ件ヲ照会ス○二十一日愛知県ノ具申ヲ審査シ第一類職員貳名ニ賞与ノ典ヲ行フ○二十三日福井県ノ具申ヲ審査シ第二類職員七名ニ賞与ノ典ヲ行フ○二十八日石川県ノ具申ヲ審査シ小学校生徒貳百三拾六名諸学校生徒九名ニ賞与ノ典ヲ行フ○二十九日東京大坂滋賀等二府一県ノ具申ヲ審査シ東京府ノ第一類職員壹名第二類職員貳名大坂府ノ第二類職員一名滋賀県ノ同上七名ニ賞与ノ典ヲ行フ○三十日文部權少書記官佐澤太郎二福岡県同野村綱二神奈川埼玉ノ二県同岩崎維謙二千葉茨城二県ノ学事巡視ヲ命ス 是月音楽唱歌府県派出伝習規則ヲ制定シ之ヲ府県ニ牒シ九月ヲ期シテ之ヲ募ル但伝習生ヲ派出セシムルモノ凡十四県ニシテ其生徒ノ及第スルモノ二十二ナリ

六月四日文部權大書記官小林小太郎二群馬栃木二県ノ学事巡視ヲ命ス 東京女子師範学校校長那珂通世二京都大坂滋賀二府一県ノ学事巡視ヲ命ス 愛媛県ノ具申ヲ審査シ第一類職員五拾壹名第二類職員六拾九名ニ賞与ノ典ヲ行フ○五日静岡岡島根等二県ノ具申ヲ審査シ静岡岡島根ノ第一類職員貳名第二類職員貳名島根県ノ第一類職員貳拾壹名第二類職員拾八名ニ賞与ノ典ヲ行フ 所轄海外留学生中其所修ノ学科ニ因リ各地諸製造場等ヲ巡驗セシムルモノ有之処右ハ尋常旅行トハ自ラ異別ノモノニ付為メニ要

スル費用ハ猶学資トシテ支給シ右巡驗ニ関スル諸費一切支弁セシメ度旨上請允裁ヲ得 愛媛県管内戸長等法令ノ手續ニ拠ラス縦ニ県令ノ認可ヲ得テ学務委員ノ人員俸額等ヲ定ムルモノアリ日ヲ経テ發覺セリ右ハ教育令第十条明文ニ拠ラサル所為ナルヲ以テ相当ノ処分ヲ行ヒ尚今後ニ属スル件ハ更ニ適法ノ手續ヲナサシムルハ勿論ナリト雖モ既往ニ属スル件ハ無効ノモノト為スヲ得カタキ事情ニヨリ行政上特別ノ処分ニ付センコトヲ稟申セルヲ以テ右ハ稟申ノ通り行政上ノ処分ニテ特ニ有効ノモノト認ムヘキヤノ旨太政官へ稟議允裁ヲ得 六日直轄学校等へ献金ノ者アリ右献金ノ旨趣ハ学事興隆ノ一助ニ供スルノ志願ニ出テ当省ニ於テモ其志願ヲ嘉納シタル上ハ其志願ノアル所ニ使用スルノ当然ナルハ勿論現ニ教育令ニ明文アル以上ハ之ヲ大蔵省ニ納付セス其所有ノ学校等ニ積置キ公債証書等ニ換ヘ利殖ノ法ヲ設ケ毎年度末其精算ヲ同省ニ報告シ全ク通常経費ト其出納ヲ別異ニ取扱度旨上請允裁ヲ得但他ノ官金ト同様会計検査院ノ検査ヲ受クヘキ旨指令アリ○九日京都府ノ具申ヲ審査シ小学校生徒式百八名ニ賞与ノ典ヲ行フ○十三日群馬県北甘楽郡ニ於テ小学訓導臨時講習会開設ニ付該教員派出ノ儀該県令ノ請求ニヨリ文部省御用掛<sup>准判</sup>山路一遊ヲ出張臨會セシム○十四日和歌山県ニ於テ十二府県学事聯合会開設ニ付県令ノ請求ニヨリ文部省少書記官吉村寅太郎ヲ出張臨會セシム○十七日所轄体操伝習所敷地ハ元來狹隘ニシテ授業上差支アルノミナラス殊ニ東北隅ハ市街ニ接シ火災ノ恐少カラス本年三月南神保町出火ノ節ハ防禦ニ因リ幸ニ延焼ヲ免レタル次第ニ付神田区一橋通町三番地即チ類焼跡

地地坪三百九拾四坪余買上該所敷地トシテ困込度依テ該地主等へ示談ヲ遂ケ且ツ内務省へモ協議済ニ付右地所買入方裁可相成度尤モ地価并家作移転料等金四千八百五拾五錢ハ当省経費中ヨリ支弁スヘキ旨上請允裁ヲ得○十九日石川県ノ具申ヲ審査シ第一類職員式名ニ賞与ノ典ヲ行フ○二十日元当省貸費仏国留學生古市公威明治十三年度以前水利土工学実地研究ノ為メ英白蘭三箇国ノ諸港ヲ巡驗シ其費用仏貨貳千五百フランク在仏国我公使館ヨリ繰替貸付セシニ右金額改メテ学資ニ増付相成度旨今回本人ヨリ願出タリ右ハ學術研究上必要ノ事柄ニ付願意聞届在仏国公使館へハ当省ヨリ該金額弁償スヘキ見込ノ処十三年度以前ノ経費ハ既ニ決算済ニ付右仏貨貳千五百フランクニ当ル金額ハ前年度繰越金ヲ以テ仕払十六年度経費ニ編入シ度旨上請允裁ヲ得○二十一日千葉県私立教育会開設ニ付県令ノ請求ニヨリ文部大書記官辻新次ヲ出張臨會セシム○二十四日区町村費等总納者処分布告ニ付テハ明治十四年第三拾八号公布但書ニ拠リタル會議ニ於テ評決シタル学費ノ总納者処分方モ之ニ準拠スヘキヤノ旨稟議允裁ヲ得是レ法令上明文ナキヲ以テ鄭重ヲ要セシナリ○二十六日石川静岡等二県ノ具申ヲ審査シ石川県ノ第一類職員三拾七名第二類職員貳拾九名静岡県ノ第二類職員壹名ニ賞与ノ典ヲ行フ○二十八日東京外国語学校ノ請求ニヨリ米国ニ出張スヘキ東京大学教授菊池大麓及在英東京教育博物館長手島精一へ白耳義ニ於テ東京外国語学校所属高等商業学校教師雇入ノ件并商業標品等購求ノ件ヲ適宜処分スヘキ旨ヲ委嘱ス 教育ノ近況ヲ察シ且東京大学ニ創設セシ造船学科整理上便益ノ為メ東京大学

教授菊池大麓へ米国ヨリ帰朝ノ路次倫敦府万国衛生及教育博覽  
会及英仏両国造船学校造船所等ノ狀況視察ノ件ヲ委嘱ス 是月  
従来着手セシ改良俗曲中其箏曲ノ考定ニ係ルモノ無慮数十曲ノ  
多キニ至ルヲ以テ之ヲ改良箏曲集初編トナシ其歌詞ヲ定ム

七月二日富山県立中学校設立ニ際シ民力疲弊ノ折柄有志者金  
員ヲ寄付シ校舍新築ノ挙アルハ最モ嘉スヘク且目下器械ノ準備  
ナカルヘカラサルヲ以テ臨時学校用器械ヲ付与ス○四日東京大  
学総理加藤弘之京都大坂滋賀兵庫二府二県ノ学事巡視ヲ命セラ  
ル○七日愛知県ノ具申ヲ審査シ第二類職員名二賞与ノ典ヲ行  
フ○十日本年九月ヨリ東京大学予備門分費ヲ本費ニ合併シ生徒  
ヲシテ等シク改定ノ新教則ニ拠ラシムルニ付テハ自今本分費ノ  
称ヲ廃スルノ議ヲ決ス○十六日米国华盛頓府ニ於テ地球上一定  
ノ子午線零点等設定ノ為メ開設ノ公会ニ派遣スヘキ委員諸費ハ  
当十六年度ノ経費ニ立ツヘキノ処右開会ノ期迫々遷延今ニ派遣  
ノ運ニ至ラス依リテ曩ニ下付ノ金額ハ一旦返納スヘキニ付更ニ  
十七年度ニ於テ下付相成度旨上請允裁ヲ得○十七日京都府ノ具  
申ヲ審査シ第二類職員拾九名ニ賞与ノ典ヲ行フ○十八日所轄東  
京女子師範学校地所ハ其周囲東南東京師範学校ヲ除クノ外ハ概  
子公道街路ニ接シ独り西北隅ニ於テ纔ニ民有地ニ密接シ一旦本  
郷市街ニ失火アルトキハ甚タ危嶮ニコレアリ且目下幼稚園運動  
場并博物教授用植物花壇等ノ設置ヲ要スレトモ構内狹隘ニシテ  
余地ナク差支少カラサルヲ以テ旁本郷区湯島四丁目貳拾五番地  
所在民有地合百九拾九坪余今回買上該校敷地トシテ囲込度依テ  
該地所有主ヘ示談ヲ遂ケ且内務省ヘモ協議済ニ付右地所買入方

裁可相成度尤モ地価并建家移転料等金六千円ハ当省経費中ヨリ  
支弁ノ旨上請允裁ヲ得○二十二日英文府県選挙師範生徒募集規  
則并体操伝習所規則ヲ印行ス 瑞典国ノ依頼ニヨリ回国軍艦乘  
組医師色盲試験補助ノ為メ文部省御用掛眼科医師講師梅錦之丞并  
東京大学助教野柴ノ二名ヲ差遣ス○二十三日人事繁多ナル  
ニ随テ精神ヲ使用スル或ハ度ニ過キ狂人ノ増加スルハ自然ノ勢  
ナレハ是等ノ調査ハ素ヨリ緊要ナルニ由リ今回帰国ノ東京大学  
雇独逸人ベルツ氏ニ便宜ヲ以テ癲狂院設置方并其治療法等取調  
ノ件ヲ委嘱ス○二十五日千葉三重福岡広島山口和歌山等六県ノ  
具申ヲ審査シ千葉県ノ諸学校生徒八名三重県ノ同上五名福岡県  
ノ同上三拾六名広島県ノ同上拾五名山口県ノ同上拾貳名和歌山  
県ノ同上拾貳名ニ賞与ノ典ヲ行フ○二十八日英文東京女子師範  
学校附属女児小学校規則ヲ印行ス○三十日脚氣病室建築費トシ  
テ当十六年度ニ於テ金壹万五千五百円別途交付ノ儀御達ノ処敷地  
ノ都合ニヨリ当年度内ニ工事着手ノ運ニ至ラサルヲ以テ右ハ一  
旦返納シ更ニ十七年度ニ於テ同費目ヘ交付相成度旨上請ニ対シ  
伺之趣ハ十八年度ニ於テ何分ノ詮議ニ及フヘキニ付予算書ニ編  
入差出ス可キ旨指令アリ○三十一日文部省第十年報印刷成ルヲ  
以テ太政官ヘ上呈統テ之ヲ府県等ニ配付ス

八月五日京都府ノ具申ヲ審査シ諸学校生徒貳拾六名ニ賞与ノ典  
ヲ行フ○九日東京大学ヲ本郷医学部内ニ移転ス○十六日高根県  
ノ具申ヲ審査シ諸学校生徒五名ヘ賞与ノ典ヲ行フ○十九日海外  
官費留学生ハ東京大学卒業生中学力優等品行端正ニシテ成達ノ  
目途アルモノヲ選抜スルノ成規ニシテ卒業後研究ノ次第ヲモ參

酌スルニ付卒業生ニシテ助教等奉職ノモノヨリ選抜スルヲ往  
往コレアルニ由リ東京大学助教等ノ者ニ帯官ノ儘留學申付候  
節ハ其奉職三箇年以上ニシテ止ムヲ得サル事情アルモノニ限り  
所定學資ノ外二月俸三分ノ一ヲ支給シ度旨上請允裁ヲ得○二十  
日茨城熊本滋賀等三県ノ具申ヲ審査シ茨城県ノ第二類職員三名  
熊本県ノ同上式名滋賀県ノ第一類職員一名ニ賞与ノ典ヲ行フ○  
二十五日石川県立専門學校附属初等中學校創設ノ際經費多端  
書器不充分ニシテ施設上困難少カラサルノ事情アルヲ以テ獎勵  
ノ為メ學校用書籍器械ヲ付与ス○二十八日秋田県ノ具申ヲ審査  
シ第二類職員一名ニ賞与ノ典ヲ行フ○二十九日所轄職工學校ハ  
設置以來本校及化学分析室ヲ始トシ事業ノ進歩ニ随ヒ漸次蒸氣  
機関木工場等建設ヲ要シ目下金屬仕上場鍛冶場鑄物場ノ新築ヲ  
要スル処地所狭少ニシテ設置スヘキ余地ナク差支少カラス然ル  
ニ之ニ接続セル大藏省所轄淺草米廩敷地ノ内面積千六百貳拾七  
坪余ハ右設置ニ適當ノ地所ナルニヨリ倉庫三棟共併テ当省用地  
大坂府下北区中ノ島玉江町壹丁目貳番地同貳拾八番地地所合面  
積七千四百拾三坪余并建物ト悉皆交換ノ儀兩省協議相整且内務  
省ヘモ照會済ニ付右地所交換授受ノ儀大藏文部兩卿連署上請允  
裁ヲ得

新潟愛知岡山等一府三県ノ県立師範學校各一校ニ獎勵品ヲ付与  
ス○二十六日東京京都福島等二府一県ノ具申ヲ審査シ東京府ノ  
諸學校生徒七名京都府ノ同上名福島県ノ小學校生徒一名ニ賞  
与ノ典ヲ行フ 愛知県ノ具申ヲ審査シ第一類職員九名第二類職  
員三名ニ賞与ノ典ヲ行フ  
十月二日文部權少書記官安東清人ニ愛媛県ノ學事巡視ヲ命ス○  
四日所轄東京職工學校ハ創立以來日淺ク目下新設ノ事業許多コ  
レアリ必要ノ部分ヨリ漸次起工ノ見込ヲ以テ既ニ木工場ノ建設  
ヲ要スル処此費額凡金貳万円ノ見込ニテ到底通常經費内ヲ以テ  
悉皆支弁ノ目途ナク前途ノ計画困難ノ折柄今般當省用地千葉県  
下下総国東葛飾郡国府台村地所陸軍省ニ於テ要用ニ付讓受度旨  
照會事實無拋儀ニ付曾テ當省經費金ヨリ仕払ヒタル該地買上代  
等ニ係ル諸費金壹万三千円ヲ陸軍省ヨリ償却ノ上地所讓渡ノ儀  
協議相整ヒ其旨同省ヨリ稟申ノ筈ニ付裁可ノ上ハ前陳諸工場建  
設費ノ補足ニ充テ度依テ該金額東京職工學校教場建築費トシテ  
當省十七年度經費ヘ別途交付相成度旨上請允裁ヲ得 文部權少  
書記官江木千之ニ山口県ノ學事巡視ヲ命ス○六日學事獎勵ノ為  
メ広島岩手等二県県立師範學校各一校ニ獎勵品ヲ付与ス○七日  
佐賀県立中學校及師範學校ヲ設置セシニ置県後創始ノ事業多  
端ニシテ該校用書籍器械等準備ノ場合ニ至ラサルヲ以テ學事獎勵ノ  
為メ臨時學校用書籍器械等ヲ付与ス○八日文部省第十年報附録  
印刷成ルヲ以テ太政官ニ上呈シ続テ之ヲ府県等ニ配付ス○十三  
日昨十六年達ノ旨趣ニ基キ劍術柔術ノ教育上利害適否ニ就テノ  
体操伝習所ノ申報ヲ領ス○十四日學事獎勵ノ為メ長崎徳島等二

県ノ県立師範学校各一校ニ奨励品ヲ付与ス 在米国東京大学教授菊池大麓ヨリ華盛頓府ニ於テ開設セシ十月十三日ノ會議ニ於テグリニツチ子午線ヲ普通ノ経度零点トシテ採用スルヲ可決セシ旨電報ヲ以テ上申セシニヨリ其旨ヲ太政官ニ上陳シ并ニ關係ノ各省ニ通知ス○十六日栃木広島等二県ノ具申ヲ審査シ栃木県ノ第二類職員名広島県ノ第一類職員七名第二類職員名二賞与ノ典ヲ行フ 當時在京ノ府知事県令ヲ東京上野公園内文部省官舎ニ招集シ学政上ノ要項ヲ演達示諭ス其目左ノ如シ一府県聯合設立高等学校コレノ類ノ事一高等学校教則大綱一府県學事會ノ事一府県學事會規則一聯合府県立學校ノ事一聯合府県立學校條例一準官立學校准府県立學校ノ事一准官立准府県立學校條例一就學督責ノ事○二十二日學事奨励ノ為メ群馬福島二県立師範學校各一校ニ奨励品ヲ付与ス○二十五日東京大学幹事兼農商務省御用係服部一三米国ルイシヤナ州ニューラルリアンス府ニ於テ開設ノ万国工業兼綿百年期博覽會事務官トシテ派遣ヲ命セラル○二十七日學事奨励ノ為メ和歌山石川二県ノ立師範學校各一校ニ奨励品ヲ付与ス○二十八日日本五月英京倫敦ニ於テ開設セル衛生博覽會へ出品ノ教育品ニ対シ金牌三顆銀牌四顆授与ノ旨報道書ヲ受領ス○二十九日學事奨励ノ為メ大坂府府立師範學校四校宮城県立師範學校一校ニ奨励品ヲ付与ス○三十日明治十六年分直轄學校在舍生徒患者表ヲ調製シ内務省衛生局及直轄學校ニ配付ス○三十一日曩ニ東京大学ニ副總理ヲ置キ其職制及俸給ヲ定メラレンコトヲ上請シ本日制達セラル

十一月八日日本第九号達ニ基キ年報野表十一種ヲ府県ニ配付ス

○十一日學事奨励ノ為メ千葉岐阜高知大分四県ノ立師範學校各一校ニ奨励品ヲ付与ス○十二日米国合衆国ルイシヤナ州ニューラルリアンス府ニ於テ開設ノ万国工業兼綿百年期博覽會ニ當省ヨリ物品撰採ノ上出陳スヘキ見込ノ処右ニ要スル費途ハ本年度予算コレナク依テ前年度繰越金ヨリ支出スヘク就テハ當省十七年度經費中外国ニ關スル費用紙幣払ノ内ニ右費途金貳千三百円増額ノ件上請允裁ヲ得○十五日專門普通兩學務局ニ於テ委員ヲ命シ學校教科用圖書自在法中邦画ヲ使用スルノ可否ヲ調査セシムルカ為メ東京教育博物館理學講義室ニ於テ圖書調査ニ着手ス○十七日學事奨励ノ為メ東京埼玉茨城富山栃木静岡滋賀等一府六県ノ府県立師範學校各一校ニ奨励品ヲ付与ス 明治十六年調公立學校職員勤務年數等取調表ヲ印行シ府県等ニ配付ス 學校ニ於テ演習スヘキ步兵操練科ノ課程等体操伝習所ノ具申ヲ了ス○十九日明治十六年調公立學校職員准官等別俸給別及私立小學校教員人員俸額一覽表ヲ印行シ府県等ニ配付ス 學事奨励ノ為メ兵庫函館福井秋田鳥取福岡山口青森宮崎鹿児島沖繩札幌等十二県ノ立師範學校各一校ニ奨励品ヲ付与ス○二十日學事奨励ノ為メ山梨県立師範學校ニ奨励品ヲ付与ス 宮城県ニ於テ宮城私立教育會開設ニ付県令ノ請求ニ依リ文部少書記官伊澤修二ヲ出張臨會セシム○二十一日東京府埼玉県ノ具申ヲ審査シ東京府ノ小学校三校埼玉県ノ同上五校ニ奨励品ヲ付与ス○二十四日日本<sup>十一月</sup>第拾三号達ニ關シ規模完全ナル町村立私立ノ師範學校ノ設置ヲ認可スル場合ニ於テ土地ノ情況ニヨリ其學科ノ加除ヲ要スルトキハ當省ニ伺出ツヘ旨ヲ府県ニ通牒セシム是レ尙未

夕府県ニ任スヘカラサルモノアルニ由テナリ○二十五日大坂福岡島根茨城岐阜山口石川福島徳島高知等一府九県ノ具申ヲ審査シ大坂府ノ小学校七校福岡県ノ同上五校島根県ノ同上三校茨城県ノ同上六校岐阜県ノ同上五校山口県ノ同上六校石川県ノ同上四校福島県ノ同上六校徳島県ノ同上五校高知県ノ同上四校ニ奨励品ヲ付与ス○二十六日米国ルイシヤナ州ニユールソアンス府ニ於テ開設ノ万国工業兼綿百年期博覧会ニ教育及授業技芸ノ用具器械并図書学校幼稚園等諸規則同校舎ノ図面撮影雛形教育法令規程類生徒ノ成績物学事統計表等凡七百五十六種及千五百十二冊ヲ出陳ス○二十九日長崎新潟滋賀秋田広島和歌山岡山鳥取宮崎鹿児島等十県ノ具申ヲ審査シ長崎県ノ小学校三校新潟県ノ同上八校滋賀県ノ同上八校秋田県ノ同上四校広島県ノ同上六校和歌山県ノ同上五校岡山県ノ同上五校鳥取県ノ同上四校宮崎県ノ同上二校鹿児島県ノ同上六校ニ奨励品ヲ付与ス○三十日栃木県ニ於テ下野私立教育会開設ニ付県令ノ請求ニヨリ文部大書記官辻新次ヲ出張臨会セシム

十二月三日図画調査ニ付邦画西画ノ教育上得失ヲ考究スルニハ西画ニ経験アルモノヲ加フルモノ亦緊要ナルヲ以テ東京大学雇教師米国人フエ子ロサヘ図画調査委員ヲ囑託ス○四日学事ニ関シ徴兵令上疑義数件ヲ太政官ニ稟議シ允裁ヲ得其要ハ第一官立府県立中学校初等科卒業ノ証書ヲ得テ教員タル者及初等中学校ヲ卒ヘ尚高等中学校ヲ修メ未タ一箇年ノ課程ヲ卒ヘサルモノ第一官立府県立学校ニ於テ一箇年ノ課程ヲ卒ヘタル後府県若クハ学校ノ廃止等ニ依リ他ノ学校ニ転シ其時適検査時限ニアル者第

三官立府県立師範学校卒業証書ノ有効年限ヲ継続延長セシメタルモノ第四官立公立学校ニ於テ体操科中ノ一科トシテ歩兵操練科ヲ卒業シタル者等ハ徴集猶予ニ属スヘキヤ等ノ件ナリ○九日東京職工学校ニ於テ機械工場等設置ノ為メ必要ニ付予テ当省ニ受領セシ大蔵省所轄浅草米廩敷地ノ内面積千六百貳拾七坪余今回該校敷地トシテ相渡シ官有地第四種ニ組替度旨上請允裁ヲ得○十日司法省所轄法学校正則科ハ自今文部省ノ所轄ニ属シ右經費トシテ司法省定額中金貳万五千六拾八円ヲ月割ヲ以テ減省シ文部省ニ増額相成度旨文部司法両卿連署ヲ以テ上請允裁ヲ得○十一日在米東京大学教授菊池大麓ヨリ華盛頓府公会始末上申書結局書訳文及同人意見書進達センヲ以テ其旨太政官ニ上申シ并關係ノ各省ニ通知ス○十二日第四号ヲ以テ司法省法学校正則科ノ儀自今文部省ノ所轄ニ属シ東京法学校ト称スルル旨ヲ告示ス○十五日愛知熊本大分宮城青森静岡栃木根室福井佐賀愛媛等十一県ノ具申ヲ審査シ愛知県ノ小学校七校熊本県ノ同上五校大分県ノ同上四校宮城県ノ同上三校青森県ノ同上七校静岡県ノ同上五校栃木県ノ同上三校根室県ノ同上二校福井県ノ同上六校佐賀県ノ同上三校愛媛県ノ同上拾壹校ニ奨励品ヲ付与ス○十六日東京法学校序次ヲ東京大学ノ次ト定メタル旨ヲ達ス 東京大学教員ハ公務時間外ニ於テモ學術実験等ヲ要スルコト多ク隔地ニ居住シテハ不便少カラサルヲ以テ便宜ノ為メ該教員中願ニ因リ凡拾名ヲ別途トシテ寄宿舎ニ居住セシムルノ議ヲ決ス○十九日東京大学教授田中館愛橋小笠原島ニ於テ行ヒタル重力并磁力実測ノ結果ヲ詳記セル理科会粹第五帙附録メジユールメント、オフ、

ゼ、フリース、オフ、グラビテー、エンド、マグ子チツク、コンスタント、アト、マガサハラシマ（英文）出版ノ件ヲ許可ス  
 ○二十二日神奈川県ノ具申ヲ審査シ小学校七校ニ奨励品ヲ付与ス  
 ○二十四日当省十七年度経費中外国ニ関スル費用紙幣払ノ儀學術器械購入及博覧会諸費其他外国人傭継等ノ費途ハ何レモ予算コレナク依テ他ノ費目ヨリ流用又ハ前年度経費中外国ニ関スル費用紙幣払ノ内へ金七千円増額ノ件上請允裁ヲ得

本年中公文往復ノ総數ハ三万六千九百七拾八件東京図書館図書ノ帯出証明書ヲ交付スルモノ拾壹通特許票ヲ交付スルモノ官用九拾五票私用九票文部省年報ヲ刊行スルモノ第十年報七千九百部第十年報附録式千部同全部合本式百五拾部計壹万百五拾部ニシテ既制ノ諸規則類ヲ英文ニ翻訳シ印行ニ付スルモノ凡七千式百五拾部学事統計表類ヲ印行スルモノ凡四千部ナリ又官報資料送付ノ數ハ六百拾六件ニシテ官報掲載數ハ六百四件ナリ

其他本年中内外各所ヨリ寄贈ノ図書ハ和漢書七百六拾三部（八百八拾五冊）洋書拾五部（式拾式冊）本省編纂ノ図書ヲ各官衙等へ配付セシ數ハ三千九百五拾四部（九千六百七拾冊）事務上参考ノ為メ購入セシ図書ハ和漢書四百三拾三部（五百五拾八冊）洋書百三拾式部（式百四拾六冊）太政官文庫ニ請求セシ図書ハ和漢書拾部（百四冊）洋書式拾六部（四拾冊）等ナリ

本省及直轄局部職員ノ事

本年末本省職員ノ現數ハ奏任拾七名准奏任拾五名判任百五拾壹名准判任四拾八名等外三拾八名雇六拾五名計三百三拾四名ナリ又直轄局部職員ノ現數ハ勅任式名奏任五拾四名准奏任拾四名判

任式百四名准判任百五拾七名等外三拾三名雇百一拾四名計五百八拾八名ナリ之ヲ前年ニ比較スレハ勅任ハ本省ニ壹名ヲ減シ直轄局部ニ壹名ヲ増シ奏任ハ本省ニ式名ヲ増シ直轄局部ニ八名ヲ増シ准奏任ハ本省ニ九名ヲ増シ直轄局部ニ五名ヲ増シ判任ハ本省ニ拾四名ヲ増シ直轄局部ニ拾名ヲ増シ准判任ハ本省ニ壹名ヲ減シ直轄局部ニ四拾壹名ヲ増シ等外ハ本省ニ拾八名ヲ増シ直轄局部ニ壹名ヲ減シ雇ハ本省ニ式拾四名ヲ増シ直轄局部ニ拾六名ヲ減シ通計本省ニ六拾五名直轄局部ニ三拾三名計九拾八名ヲ増加セリ

五月七日参事院議官森有禮文部省御用掛兼勤仰付ラル○十四日  
 文部少輔兼元老院議官九鬼隆一特命全權公使ニ任ス○二十二日  
 文部少書記官穂積陳重ノ調査課長ヲ免ス 文部樞大書記官木村  
 正辭ニ編輯局副長ヲ命ス 文部少書記官伊澤修二ニ調査課長ヲ  
 命ス

十月九日文部大書記官西村茂樹宮内省出仕ニ補シ文部省御用掛  
 兼勤仰付ラル 宮内省出仕兼文部省御用掛西村茂樹ニ編輯局長  
 ヲ命ス○二十日参議兼参事院議長福岡孝弟文部卿大木喬任不在  
 中文部卿兼勤仰付ラル

十二月十二日司法樞少書記官兼文部省御用掛加太邦憲ニ東京法  
 学校長心得ヲ命ス

本省職員

勅任	奏任	准奏任 御用掛	判任	准判任 御用掛	等外	雇	合計
	一七	一五	一五	四	三	五	三三

直轄学校館所職員

勅任	奏任	准奏任	判任	准判任	等外	雇	合計
総理教授 一	幹事 一	校長 八	教授 二六	助教授 三	教諭 一四	御用掛 一四	助教授 三〇
							教諭 二五
							助教授 四九
							訓導書記 六
							御用掛 九四
							御用掛 五七
							等外 三三
							雇 二四
							合計 五八

(中略)

官費留学生ノ事

二月一日在独官費留学生医学士高橋順太郎柏林大学ヨリストラ  
スブルグ大学へ転校ノ儀ヲ許可ス是レ該大学ニハ有名ナル薬物  
学専門ノ教師アリ殊ニ完全ナル教場アリテ薬物学裁判医学等研  
修上便益アルヲ以テナリ○四日在独官費留学生医学士小金井良  
精明治十三年ヨリ解剖学及組織学ヲ研修シ殆ト満期ニ近ツケト  
モ尚一層研修ノ為メ満期後引続一箇年半私費留学ノ願ヲ許可ス  
○十二日在独官費留学生医学士難波正帰朝ノ途次自費ヲ以テ米  
国ヲ経過シ電気学及気象学実験シ度旨ノ願ヲ許可ス 法学士斯  
波淳六郎ニ公法学(主トシテ国法行政国際法) 文学士井上哲次  
郎ニ哲学(主トシテ心理哲学道義哲学純正哲学(修業ノ為メ各  
満三箇年間ノ期限ヲ以テ独逸国留学ヲ命ス但柏林大学ニ入ルベ  
キ筈ナリ  
三月五日明治十三年中理財学修業ノ為メ英国ニ派遣シ後十六年  
ヨリ独逸国ニ転シ柏林府ニ於テ研究セシ官費留学生文学士和田  
垣謙三今回帰朝ノ旨ヲ了ス  
四月三日特派留学生文学士木場貞長修業上及実地取調ノ都合ニ

ヨリ三月十五日ヲ以テハイデルベルヒ府ヨリ柏林府ニ転学ノ旨  
ヲ了ス○十四日在独官費留学生医学士小藤文次郎地質学ノ研究  
ヲ卒ヘ帰朝ノ旨ヲ了ス但同氏ハライプチヒ府大学ニ於テドクト  
ルデルフィロソフィーノ学位ヲ受領セリ○二十八日在独官費留  
学生文学士都築馨六公使ノ許可ニ因リハイデルベルヒ大学ヨリ  
柏林大学へ転学ノ旨ヲ了ス 在独官費留学生医学士難波正物理  
学ノ研修ヲ卒ヘ帰朝ノ旨ヲ了ス但同氏ハバシユリエーシヤン  
ス、リツサンシエーエマシヤンスフイツシク等ノ学位ヲ受領セ  
リ

五月九日在英官費留学生医学士九里龍作本年八月マテグラスゴ  
ー府ニ於テ機械組立等ヲ研究セシカ九月ヨリ留学満期マテ七箇  
月間欧米各地ノ諸機械製造所等巡験実地考究ノ願ヲ許可ス○十  
一日特派留学生文学士末岡精一本年三月二十二日ヲ以テ澳國維  
也納府ヨリ独國柏林府へ転学ノ旨ヲ了ス

八月二十日東京大学助教法学士宮崎道三郎ニ法学(主トシテ  
沿革法理学及民法総論) 修業ノ為メ満三箇年同上医学士片山國  
嘉ニ裁判医学修業ノ為メ満四箇年理学士田中正平ニ物理学(主  
トシテ音響学及磁気学) 修業ノ為メ満三箇年文学士穂積八東ニ  
政治学(主トシテ行政学及欧州制度沿革史) 修業ノ為メ満三箇  
年間各独逸国ニ留学ヲ命ス

十月十六日在独官費留学生医学士飯島魁明治十八年一月ヨリ三  
月迄伊太利国子ーブルス府ニ留学シ同所動物研究所ニ於テ研修  
シ度旨ノ願ヲ許可ス

十二月二十四日官費留学生医学士緒方正規生理学及衛生学ノ研



修ヲ卒へ独逸国ヨリ帰朝ノ旨ヲ了ス○二十七日在独官費留學生  
醫學士榊俣ニ滿期後尚ホ一年間留學シ裁判醫學ニ係ル精神病學  
ヲ研修シ且帰朝ノ途次米國ヲ經該國癲狂院ノ設置方并其治療法  
等ヲ調査スヘキ旨ヲ達ス

海外官費留學生表 明治十七年末調

學科	留學年限	派遣年月	族籍	姓名
獨解組	滿三年	明治十二年十一月十四日	新潟県士族	小金井良精
動物學	滿三年	明治十五年一月四日	静岡県士族	飯島 魁
精神病學	滿三年	同上	東京府士族	榊 俣
病理學	滿四年	同上	東京府平民	三浦 守治
藥理學	滿三年	同上	石川県士族	高橋順太郎
藥學化學	滿三年	同上	東京府士族	都筑 馨六
政治學	滿三年	同上	東京府平民	渡邊 渡
採鋳學	滿三年	明治十五年六月十八日	東京府平民	木場 貞長
政治學	滿三年	明治十五年三月十八日	○文部省御用掛	末岡 精一
政治學	滿三年	同上	○文部省御用掛	
醫學外科	滿四年	明治十六年三月十七日	岐阜県士族	佐藤 三吉
醫學内科	滿四年	同上	東京府士族	青山 胤通
數學	滿三年	同上	新潟県士族	藤澤利喜太郎
製造化學	滿三年	明治十六年九月二十二日	福井県士族	中澤 岩太
製藥學	滿三年	同上	愛知県士族	下山順一郎
機械工學	滿三年	明治十五年二月四日	大坂府平民	九里 龍作
土木工學	滿三年	明治十六年三月二十二日	高知県士族	白石 直治
哲學	滿三年	明治十七年二月十六日	福岡県平民	井上哲次郎
公法學	滿三年	同上	石川県士族	斯波淳六郎

同 法学 滿三年 明治十七年八月二十三日 東京大学助教授 宮崎道三郎  
 同 裁判醫學 滿四年 同上 東京大学助教授 片山 國嘉  
 同 物理學 滿三年 同上 兵庫縣平民 田中 正平  
 同 政治學 滿三年 同上 愛媛県士族 穂積 八束  
 留學生一箇年ノ學資獨塊兩國ハ銀貨千貳拾円ニシテ英仏及米國  
 ハ銀貨千七拾円ナリ  
 ○印ヲ附シタル式名ハ特派留學生ニシテ其他ハ皆官費留學生ナ  
 リ

〔文部省明治十七年事務報告〕  
書全 2A, 35-5, ①1518